

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりにき緊張感



2025(令和7)年6月15日／第106号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう！

風早北部地域ふるさと協議会



防災知識を蓄えよう～シリーズその③

今後約3-4ヶ月間は風水害対策を

これからのおよそ3～4カ月は本格的な洪水や台風シーズンですので、以前この紙面でご案内しました避難場所（自分たち家族が避難すべき場所）を改めて確認していただくとともに、災害に関する情報に対して常に「防災意識のアンテナ」を立てましょう。

今の時代、「何も備えをしない＝大規模な災害時に高い確率で生命が容易に奪われる」ことを意味します。

先ずはお近くのテレビやラジオで天候の急激な変化や災害情報を入手しましょう。夏の天候は時々刻々と変化しますので、情報をこまめに入手しておくことが肝要です。警戒レベル5段階を頭に入れ、レベル4までに適切な避難行動をお願いします。また防災アプリをお手元携帯に入れ、大切な情報源としましょう。柏市が昨年導入した「リスクマ」《P2-4 参照》も重要な情報源になります。

風早北部地域の自主避難所は沼南支所1階です

台風や爆弾低気圧などの接近で、大雨や暴風での危険が間近に迫っている場合、柏市では各地域の近隣センターに「自主避難所」が開設されます。当地域は今年3月で閉館しました「ひまわりプラザ」に代わって、柏市役所沼南支所に自主避難所が開設され、その案内は柏市メールマガジン・SNS 登録者に通知があり、また市のホームページにも掲載されます。

インターネットやメールの操作が不慣れな方は、是非事前に沼南支所総務担当へ電話で確認しましょう。☎ 04-7191-7314（無い悔い・準備しなさいよ）

なお自主避難所には、避難住民向け飲料水や食料品は基本的に用意されていません。防寒着とともに避難者自らが持参し、避難所に来場ください。簡単な充電器などは避難所に用意があるので、携帯電話やラジオなど、情報入手手段を持参されることをおすすめします。



次頁は、水害情報監視システム「リスクマ」の閲覧方法です。

防災ネットしょうなん 第106号

自宅周辺での洪水発生 その備えは？ 内水氾濫情報を確実に

大型台風や暴風雨、ゲリラ豪雨など、最近の荒天の伴う自然災害については、2023年6月に発生しました手賀沼周回道路の一時的な水没もそうですが、過去に経験のない規模の災害でその深刻さが毎年明確になっています。

柏市が昨年6月に本格稼働しました通称「RisKma (リスクマ)」、正式名称の
「柏市管路内水位観測システム」

は台風や集中豪雨から市民の命を守るため、防災気象情報につきインターネットを通じ、一般市民に広く関連情報が提供(共有)されます。

その利用に際しての免責事項など注意事項を必ずお読みいただき、内容をご理解の後、閲覧・活用してください。詳しくは、QRコード読取り専用アプリを使って、こちらのQRコードから、或いは「柏市管路内水位観測システム」で検索してアクセスし、閲覧方法や利用マニュアルをご覧ください。



リスクマの機能（柏市の本システムマニュアルからの引用）

【はじめに】「柏市管路内水位観測システム」とは

災害の
状況



大雨発生



マンホール・
河川水位が上昇



内水・外水
氾濫が発生

マンホール水位、雨量予測、河川水位、浸水リスク等
一元管理する情報システムです

CLOUD



システムはクラウド
サーバー上にあるので、
PC、スマートフォン
からアクセスできます

スマートフォンなら
外出先でも
確認できる！

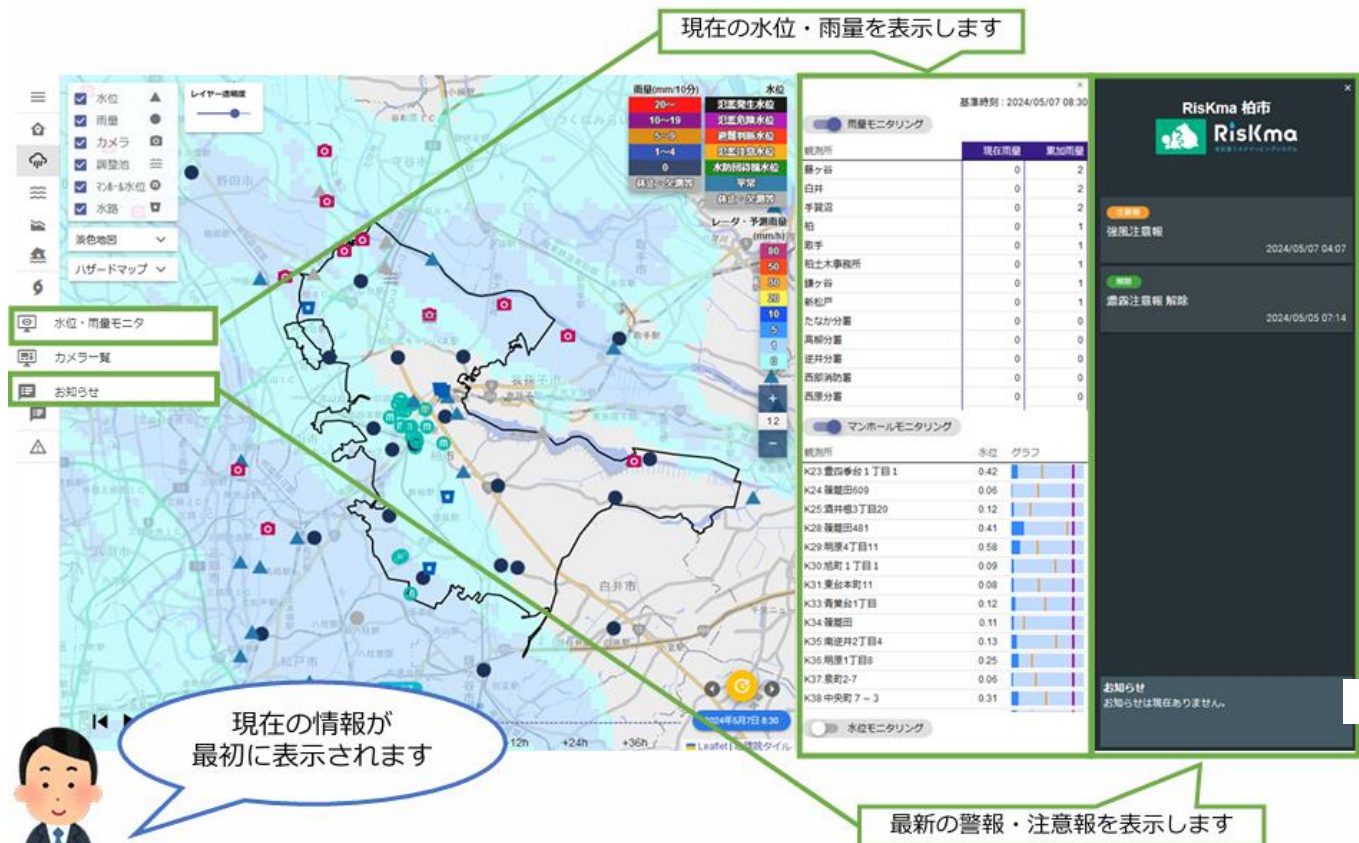


管路内水位観測システム



URL : <https://kashiwa.riskma.jp/>

現在の柏市の予測降雨地図、市内の観測水位・雨量、警報・注意報等の情報が表示されます。



リスクマ(RisKma)って何？

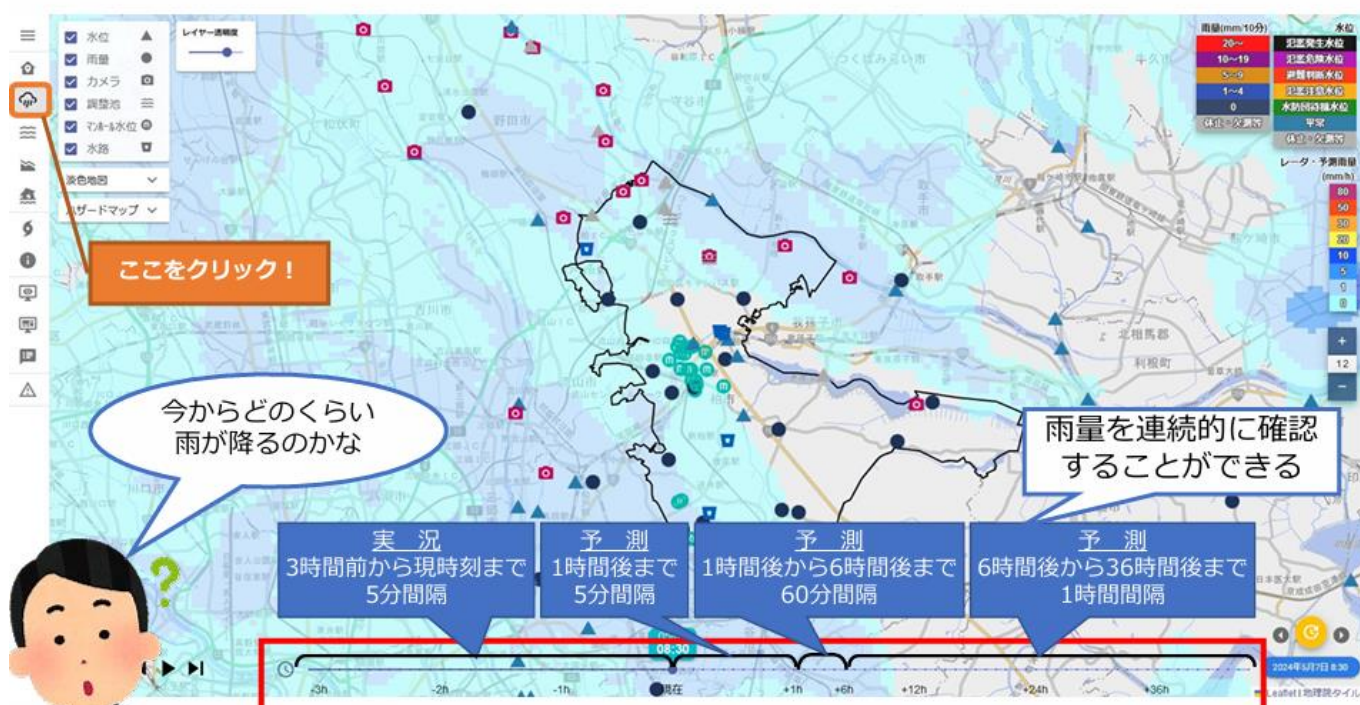
(株)建設技術研究所が開発した「水災害リスクマッピングシステム」のことで、柏市が全国の自治体に先駆け、費用を投じ導入した情報閲覧ツール。

全国のどこかで毎年発生する大規模洪水被害は、昨年6月に手賀沼氾濫という過去に例のない

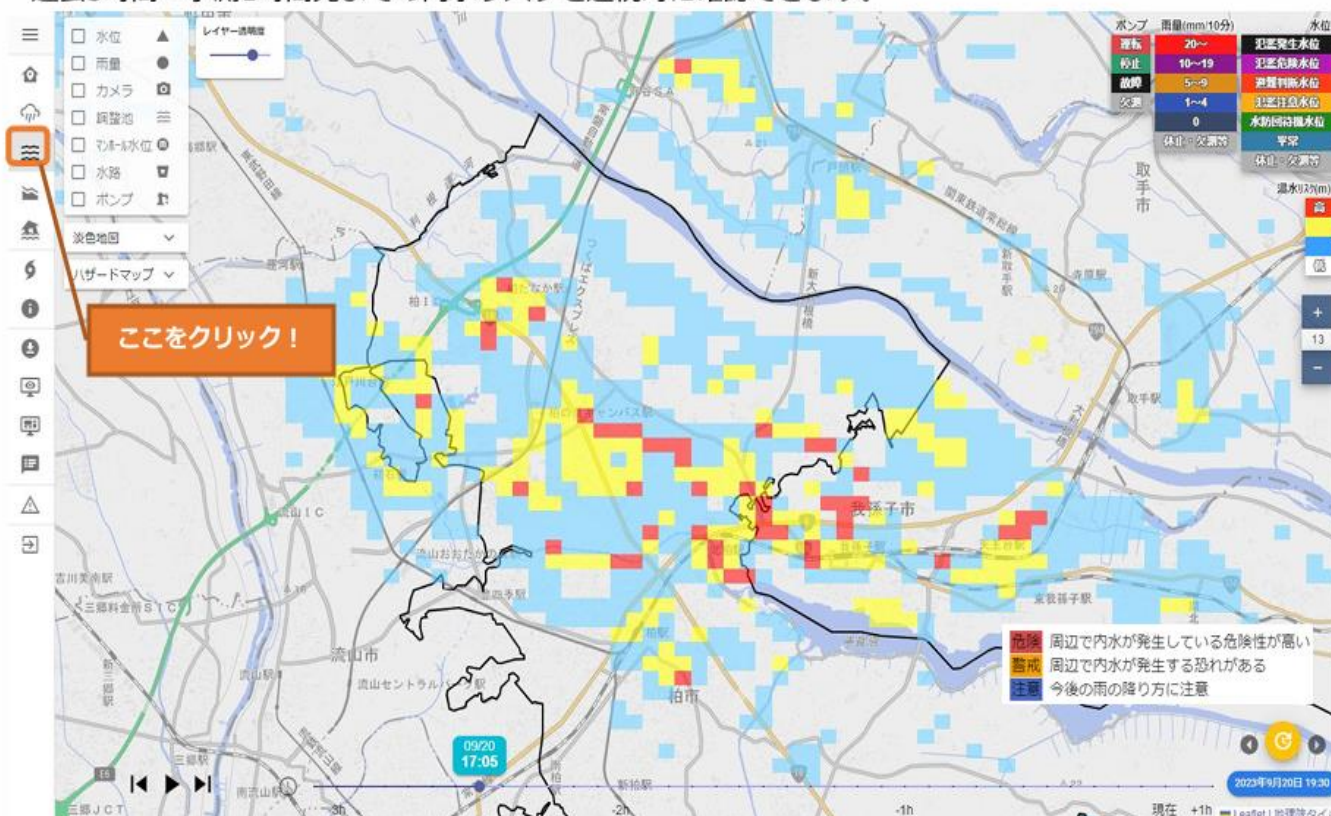


雨量を当地域にももたらしたこともあり、柏市が本システムを導入し、市民が率先して洪水情報を積極的に入手して、その後の適切な行動で自らの生命を守ることを主目的に進められました。

過去3時間～予測36時間先までの予測降雨を連続的に確認できます。



過去3時間～予測1時間先までの内水リスクを連続的に確認できます。



1時間以内程度の豪雨現象による内水現象を対象に、気象庁高解像度降水ナウキャストおよび地形モデルを組み合わせ、内水の発生の恐れがあるエリア（リスクエリア）を解析・予測しています。

なお本システムは、数時間続く豪雨を原因とする、河川からの越水氾濫は考慮しておりません。また、リスクマップによる内水の恐れがあるエリアと実際の内水エリアは完全に整合は取れておりません。ご覧になる場合はこれらの特性を十分にご理解の上、ご利用ください。

このほか、マンホール、水路、調整池、河川の水位状況、雨量情報、更に市内所定地に設置している観測カメラ画像も確認が可能です。